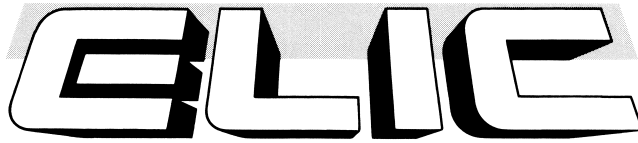


電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence



2024年6月10日

No 438

1部100円

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

電機各社の24年3月期決算をみる

【電機各社の通期業績】

2024年3月期決算

単位億円

企業名	売上高		営業利益			税引前利益		当期利益	
	今期	前年比	今期	前年比	利益率	今期	前年比	今期	前年比
日立	97,287	△ 10.6 %	7,558	1.0 %	7.8 %	8,258	0.7 %	5,899	△ 9.1 %
東芝	32,858	△ 2.3 %	399	△ 63.9 %	1.2 %	△ 203	- %	△ 748	- %
NEC	34,773	5.0 %	1,880	10.3 %	5.4 %	1,850	10.3 %	1,495	30.6 %
富士通	37,561	1.1 %	1,603	△ 52.2 %	4.3 %	1,782	△ 52.1 %	2,545	18.3 %
三菱	52,579	5.1 %	3,285	25.2 %	6.2 %	3,659	25.2 %	2,849	33.2 %
パナソニック	84,964	1.4 %	3,610	25.1 %	4.2 %	4,252	34.4 %	4,440	67.2 %
シャープ	23,219	△ 8.9 %	△ 203	- %	△ 0.9 %	△ 71	- %	△ 1,500	- %
富士電機	11,032	9.3 %	1,061	19.4 %	9.6 %	1,078	12.6 %	754	22.9 %
沖電気	4,219	14.3 %	187	677.9 %	4.4 %	183	- %	256	- %
ルネサスエ	14,694	△ 2.1 %	3,908	△ 7.9 %	26.6 %	4,222	16.5 %	3,371	31.4 %
安川	5,757	3.6 %	662	△ 3.1 %	11.5 %	691	△ 2.9 %	507	△ 2.1 %

(注)ルネサスは12月決算数値(23.1-23.12)

(はじめに) 電機各社の24年3月期決算では、シャープを除く企業で概ね好業績となっています。資源価格の高騰や物価上昇もありながら、輸出に頼る電機大企業にとって円安は業績への追い風となっています。

①売上減でも高収益(7.8%)を確保(日立)

売上高が10.6%減少したのは、日立建機・日立金属の売却や、日立Astemoの再編によるものです。それでも、営業利益は増収となり利益率は7.8%と電機の中でも高水準となっています。セグメント別でも、デジタルシステム&サービスでは、売上高+9%営業利益率12.8%と好調です。特にLumada事業は増収増益です。グリーンエネルギー&モビリティもそれぞれ+24%、6.5%となっています。エネルギーや鉄道システムで増収増益となっています。コネクティブも+3%、10.5%となっています。ビルシステムや水環境で増収増益となっています。

②営業黒字なるも748億円の最終赤字(東芝)

東芝キャリア社の売却を主因に、売上高は減収となりました。営業損益も、公共インフラや送配電・発電システムが好調で前年比改善しました。しかし、HDDや発電システムでの製品保証引当金(△368)、PJ案件コスト精査(△308)、プリンティング事業のれん減損(△115)などで前年比で大幅な減益となりました。最終利益は、キオクシアの持分損益(△873)で大幅な赤字となりました。

(2ページに続きます)

今月号の紙面

- ①電機大手の3月期決算全体の特徴
- ②電機大手の3月期決算全体の特徴
- ③全労連・東京地評争議支援総行動
- ④ルネサス労組は活動の再点検を
- ⑤東京電機懇「第35回総会」開催
- ⑥ラプラス「東芝の会」今井さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧「株主総会」「リストラ反撃集会」からむすの原稿を。集積回路